

ECO Vol.5

Everyday Everywhere いいエコで、いこう。

今更の取り組みを行っている団体
阪神電気鉄道株式会社
阪神園芸株式会社

阪神甲子園球場の屋根の太陽光パネル、 1年でどれくらい発電できる？

- ① ナイター照明1年分の電力
- ② バックスクリーン電光掲示板1年分の電力

兵庫県
あおぞら大賞

答 ① ナイター照明1年分の電力：年間発電量は約21～22万kWh。当球場で阪神タイガースが1年間に行うナイトゲームで使用するナイター照明の電力量を賅えます。※年間ナイター54試合開催、1試合当たり3.3時間点灯として計算。

銀傘上に太陽光パネルを設置
内野スタンドの大屋根「銀傘(さんさん)」上に、(株)ホンダソルテック製のCIGS太陽電池を用いた次世代型の太陽光パネルを約1,600枚設置。一年間の発電で約150tのCO₂が削減でき、これは甲子園球場約12個分の森林が吸収するCO₂に相当します。



※CO₂削減量は、火力発電係数0.69kg-CO₂/kWhを基準計算。※森林は天然林とし、CO₂吸収量は、3.3t-CO₂/haとして計算。

ツタを再生して壁面緑化
甲子園球場の代名詞といえる「ツタ」。2007年10月～2010年3月のリニューアル工事のため伐採と余儀なくされましたが、高等学校野球連盟加盟の高校で育ててもらったツタを移植するなどして再生。ヒートアイランド現象の緩和や空調効率の向上にも寄与します。



雨水の利用
水資源の節約のため、雨水を有効利用し、グラウンドの散水やトイレの洗浄水に使用しています。



「阪神甲子園球場プラスチックカップリサイクル」
2012年度シーズンから、帝人(株)と共同で、生ビール等の販売に使用するポリエステル製のカップをリサイクルする取り組みを行っています。球場内に設置した専用カート等で回収されたカップを再生ポリエステル繊維にリサイクルし、来場者にお配りする配布物等に利用しています。

